

事 務 連 絡
平成 2 4 年 7 月 1 0 日

関東東海北陸農業試験研究推進会議茶業部会 各県関係者 各位
近畿中国四国農業試験研究推進会議茶業部会 各府県関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議茶業部会事務局
近畿中国四国農業試験研究推進会議茶業部会事務局
((独) 農研機構 野菜茶業研究所 茶業チーム)

平成 2 4 年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議 合同茶業部会現地研究会の開催について

標記研究会につきまして、別添「開催要領及び日程」のとおり開催しますのでご案内申し上げます。

つきましては、資料作成ならびに参加申し込みについて下記のとおりご連絡させていただきますので、各府県の皆様にはご出席並びにご協力の程よろしくお願いいたします。

1. 資料作成

別添ファイル「資料作成要領」のとおり。

なお、参加者のない府県につきましても資料の提出をお願いします。

(1) 当日の資料に綴じ込み、会議の席上で簡単に紹介いたします。

(2) 資料を提出頂いた府県には、後日資料を送付いたします。

※【提出期限：平成 2 4 年 9 月末日】

2. 参加申し込み

別添ファイル「参加申込票」の下段注意書きを必ずご確認頂き、必要事項を記載のうえ、茶業チームまでメールまたは F A X でご送付下さい。

※【申込期限：平成 2 4 年 9 月 2 1 日 (金)】

3. お問い合わせ先

野菜茶業研究所 企画管理部 業務推進室 茶業チーム 池杉美知男

TEL : 0547-45-4105 FAX : 0547-46-3066 E-mail : kikaku-cha@ml.affrc.go.jp

4. その他

参加者の方には、必要に応じ別途詳細なご連絡をさせて頂く予定です。

事 務 連 絡
平成 2 4 年 7 月 1 0 日

(独) 農研機構 中央農業総合研究センター
(関東東海北陸農業試験研究推進会議事務局) 関係者 各位
" 近畿中国四国農業研究センター
(近畿中国四国農業試験研究推進会議事務局) 関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議茶業部会事務局
近畿中国四国農業試験研究推進会議茶業部会事務局
((独) 農研機構 野菜茶業研究所 茶業チーム)

平成 2 4 年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議 合同茶業部会現地研究会の開催について

標記研究会につきまして、別添「開催要領及び日程」のとおり開催しますのでご案内申し上げます。

つきましては、参加申し込み等について下記のとおりご連絡させていただきますので、ご出席並びにご協力の程よろしくお願いいたします。

1. 参加申し込み

別添ファイル「参加申込票」の下段注意書きを必ずご確認ください、必要事項を記載のうえ、茶業チームまでメールまたは F A X でご送付下さい。

※【申込期限：平成 2 4 年 9 月 2 1 日 (金)】

2. 検討事項等

当該研究会において、各ご担当における検討事項等を簡単にご発言 (5 分程度) 頂きたく存じます。なお、その際に配布する資料がありましたら、茶業チーム (E-mail : kikaku-cha@ml.affrc.go.jp) までご提出をお願いします。

※【提出期限：平成 2 4 年 9 月末日】

3. お問い合わせ先

野菜茶業研究所 企画管理部 業務推進室 茶業チーム 池杉美知男

TEL : 0547-45-4105 FAX : 0547-46-3066 E-mail : kikaku-cha@ml.affrc.go.jp

4. その他

参加者の方には、必要に応じ別途詳細なご連絡をさせて頂く予定です。

「茶における被覆栽培技術の現状と課題」

－ サブタイトル －

〇〇県

本研究会の趣旨に沿って、各府県の取り組みの概要と技術開発の現状と問題点について記述ください。必要に応じて、上記サブタイトルを記入いただくほか、下記項目も自由に追加・変更いただいて結構です。

<参考> 本研究会趣旨

茶においては、被覆による高品質化技術が開発され、高級茶生産を中心に発展してきた。近年では、省力的な直がけ被覆栽培が伸びており、一部では二番茶、秋冬茶にも連続して被覆するまでに至っているが、その一方では過度の被覆による樹勢への影響が懸念されている。

そこで、本研究会では被覆栽培の現状と問題点を検討し、今後の試験研究の推進に資する。

1. 各府県の被覆栽培の現状と発生している問題点の紹介
2. 被覆栽培において発生している問題点への対策技術の研究開発状況
3. 被覆栽培技術開発研究における今後の展望

<資料作成上の注意事項>

1. 様式・枚数は基本的に自由ですが、A4判縦置きで、周囲に20～25mmの余白を取ってください。
2. 本文は、明朝体で10～11pt程度を標準とします。
3. 上記、赤字部分は適宜変更してください（黒字）。また、青字部分は説明ですので、削除してください。
4. 作成はMS-WORDまたは一太郎をお願いします。ページ番号は不要です。
5. 作成ファイルは、9月末日までに、野菜茶業研究所茶業チーム（kikaku-cha@ml.affrc.go.jp）へお送りください。